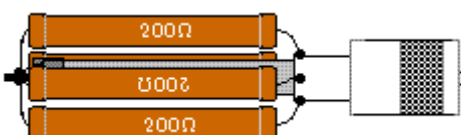


## 50Ωダミーロード DC~100MHz 28W MAX DL28Mの作り方

HFから50MHz帯で使用できるDUMMYLOAD、50Ωを作ります  
 7W 200Ωの酸化金属皮膜抵抗 4本を、並列配線して、28Wのダミー抵抗とします  
 コネクタMP-5に、5D-2V同軸を立ち上げて同軸ケーブルのまわりに、200Ω抵抗4本を配置して半田付けします  
 ~50MHzでVSWR 1.05 以内になりました、良好です

### 構成図




部品表	
酸化金属皮膜抵抗	200Ω 7W × 4本
同軸コネクタ	MP-5(Ni) × 1
同軸ケーブル	5D-2V × 100mm
絶縁テープ	自己融着 FB-W 少々

VSWR 特性				
周波数 MHz	~50MHz	100	145	200
VSWR	1.05 以下	1.11	1.25	1.53

### 製作例

### 組立後のチェック

半田付けが終わったら、テスタ抵抗計で、MP-5の中心コンタクトと外側ボデー間の抵抗値が50Ω(48~52Ω)になっていれば、完成です

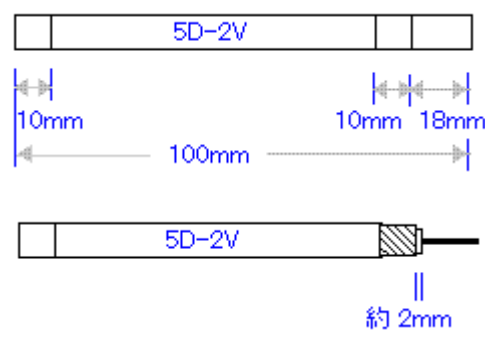
**(注意)**  
 半田付けは、かなりな高温になります、ぬれ雑巾などを用意して、冷ましながら作業してください、やけどなどしないよう十分注意して下さい

**(使用上の注意)**  
 使用中はダミーロードが次第に温度上昇してきます、熱くならないよう細心の注意して下さい、ダミーロード抵抗が温かくなったら、直ちに中断して、十分冷却してから、使用して下さい

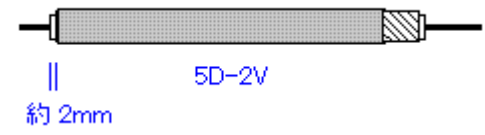
コネクタの半田付けには、高温の半田ごてが必要です、ICから極太ケーブルまで対応のgootの即熱はんだにて TQ-77が、おすすめです

### 50Ωダミーロード DL28Mの作り方

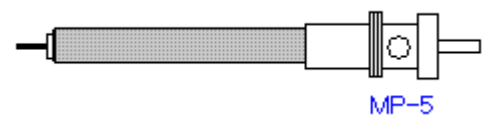
①5D-2V 同軸100mmの片側は、MP-5に取付け加工します



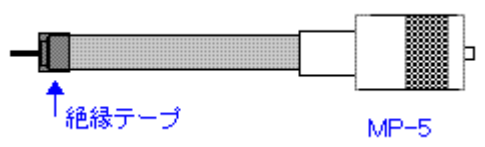
②もう片側は抵抗と接続加工をします  
 芯線を5~8mm出しておきます



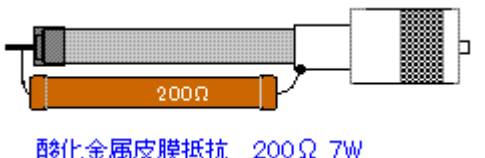
③MP-5プラグを半田付けします



④テープで網線を絶縁しておきます

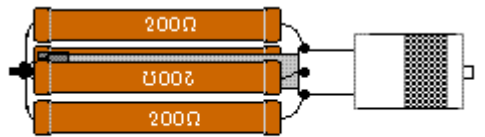


⑤4本の抵抗を同軸のまわりに配置します  
 同軸の芯線とMP-5のボデーに半田付けします

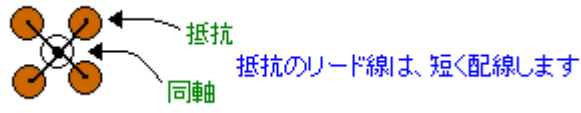


酸化金属皮膜抵抗 200Ω 7W

⑥4本の抵抗は、隣同士を、たがいに逆に配置します



酸化金属皮膜抵抗 200Ω 7W × 4



抵抗  
 同軸  
 抵抗のリード線は、短く配線します